

さつまがらす しまづけでんらい
薩摩硝子 島津家伝来

【所在地】鹿児島市吉野町9698-1 尚古集成館

【種別】県指定有形文化財（工芸品）

【指定年月日】平成17年4月19日



藍色切子脚付蓋物



紅色切子碗



半球体ガラス

薩摩切子の他、板ガラス・半球体ガラス等を加えた22組（54点）の薩摩硝子で、江戸時代から明治初期にかけて製作されたものである。

薩摩切子は、厚くきせた色ガラスを緩やかな角度でカットし、次第に色彩を薄め透明ガラスとの境をあいまいにする「ぼかし」が美しい。

薩摩藩のガラス製造技術水準の高さを示すまとまった資料として、本県の工芸史上貴重なものである。